

新入生の皆さん
ご入学おめでとうございます
ごさいいます

皆さん、春休みはどのように過ごされましたか？新学期の準備や旅行など充実した春休みだったことと思います。また、学部新四年生、短大新二年生は就職活動で忙しかったのではないのでしょうか。

四月に入り、新年度が始まりました。新入生の皆さんは、早く大学生活に慣れるように楽しく過ごしていきましょう。また、在校生の方は、今年も元気に頑張っていきましょう。

私たちがたくさんさんの企画ができるように頑張ります。またメンバーも募集しています。図書館に関心がある方は一緒に活動してみませんか！

図書館に
足を運んでください



昨年度の図書館便りには十三名の先生がおススメ本を紹介してくださいました。その本を十三日から展示します。

また、一月に開催されたレイチェル・カーソン展の関連本を二階閲覧室に展示しています。

代表的な著書『沈黙の春』や、遺稿集『失われた森』などがあります。

開催時期がテスト期間と重なっていたため来られなかった人、また環境問題に興味のある人は、この機会にぜひ図書館に来てください。



図書館カレンダー 4月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

黒・・・開館日 時間 8:45～18:00
 緑・・・土曜開館日 時間 9:00～16:30
 赤・・・休館日



先生方のおススメ本

今回おススメ本を紹介して下さった先生は、

心理コミュニケーション学科

『大江朋子先生』です。



おススメ本

『マイ・ドリーム』

～バラク・オバマ自伝～

バラク・オバマ著

コメント

白人で、とある宗教をもち、裕福な家庭に育ち、それほど年をとっていないオジサン。これらの条件にあてはまらないと、アメリカの大統領になりにくい。何かカベがあるからだ。今のところ、例外はケネディとこの本の著者。ケネディはお金も力もあるファミリーの超オポッチャマ。この本の著者はそうじゃない。彼の母親は、離婚した後、二人の子どもを育てながら大学院に通い、奨学金しか収入源がなかったこともある。びつくりだ。

まわりは彼を例外だと強調するが、彼自身が人前でそれに触れることはほとんどない。しかし、この本には、彼がそれをどう感じ、悩み、対処しようとしたかが詳しく書かれている。社会がつくるカベ、目の前にいる人がつくるカベ、自分がつくるカベは、私たちの身近にも多い。このばかばかしいカベにつきあたって悩むことがあるば、この本を読むのもいいだろう。もっとも、一番読んでもほしいのは、カベを感じない人なのだが。

